

第24回全国青年対策交流集会 感想文

今回の青年対策交流集会に参加して、1番に思ったことは、各地方、世代交代が進んでいると感じました。

自身が所属してる、関西地方も世代交代が進んでおり、各地方の若い力と、楽しく交流をし、仲を深めている感じを受け、ますます、団結の力が強くなっていくのを感じました。

今回、関西が舞台となって、青対をおこなって、IRについての大阪市のこれまでの失敗を題材として、説明を担当をしましたが、人に何かを伝えること、興味を引くことの、難しさを感じましたが、関西地方畠山委員長の講義の仕方は、斬新で新しい感覚を教えてくださいました。次回、機会があれば、活かしたいです。

松永書記長の講義も現代の港湾の問題を我々、青年帯にわかりやすいように話していただき、ありがとうございます。港湾の若手不足を考えるにおいて、大幅な賃上げを要求するのが、必要で、学校の斡旋も、もちろん給料の良いほうから、進められるので、港湾関係まで人材が来ない現状を打破するのに、団結の必要を理解しました。

分散会からの発表も、関西地方青年部の感じてほしいことを各地方の方々が理解してくれて、安心しました。

各地方に持ち帰って、関西の現状を話してくれると、分散会での発表があり、横のつながりの大切さを感じました。

古田中央執行委員の総括では、ここから自力の積み上げていく必要性を言っていただきました。理論武装と会社を疑ってかかる、そのためには、日々の学習を少しずつ積み上げていき、立ち向かえる術を持っておく

、必要な時に使えるようにしておく事の重要性を確認させてくれました。

今回も、大きな経験をさせていただき、ありがとうございます。

とても、充実した3日を過ごせました。

関西地方 築港支部
青年部長 南谷尚孝